



一般社団法人玄洋社記念館新理事長に妹尾俊見氏

一般社団法人玄洋社記念館は今年六月に理事会を開き、退任された吉村剛太郎理事長の後任の理事長に妹尾俊見理事(元福岡市議会議員)を全会一致で選出した。



妹尾 俊見

この度、吉村剛太郎理事長のご勇退にあたり、第五代玄洋社記念館理事長に就任いたしました、妹尾俊見でございます。

郷土、福岡に脈々と続く玄洋社の流れをしっかりと受け継ぎ、各顕彰祭などの活動のみならず、玄洋社先達が進んできた道、生き様、信念などは、多様化し秩序が乱れつつある現代では、国の将来を正しく導く

道しるべになると確信しております。

特に若者の健全たる育成は国の恒久なる繁栄に直結することを鑑みますと、今後更に力を入れていくべきと考えております。

私は第二代理事長でもありました父、憲介が玄洋社に注いだ想いや情熱を引き継ぎ、理事長として粉骨砕身、その職務を全うしていく所存であります。

皆さまにおかれましては、何卒変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 玄洋社記念館
理事長 妹尾俊見

報 館

玄洋142号

令和5年10月1日

発行

一般社団法人

玄洋社記念館

郵便番号 814-0013

福岡市早良区藤崎2丁目

12番11号

E-mail: genyosha.kinenan1@gmail.com

妹尾俊見新理事長経歴

妹尾新理事長は昭和十八年に第二代玄洋社記念館理事長でもある父、妹尾憲介氏の長男として福岡市に生まれ、大名小学校、舞鶴中学校、修猷館高校、早稲田大学を卒業し、昭和六十二年に福岡市議会議員(中央区)に初当選し、以後七期連続当選。

平成六年に玄洋社記念館理事に就任。

平成十七年には、第六七代福岡市議会議長に就任

され、平成二三年に玄洋社に政治を学ぶ議員の会を設立し、初代会長に就任。

平成二七年に福岡市議会議員を勇退され、令和五年に第五代玄洋社記念館理事長に就任された。

ご挨拶



吉村 剛太郎

賛助会員の皆様 残暑の候ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度一身上の都合により玄洋社記念館理事長を退任させて頂くこととなりました。

在任中の公私にわたる皆様よりのご厚情に心より感謝し厚く御礼申し上げます。

末筆ではございますが皆様のご多幸をお祈り申し上げ略儀ながら書中をもつて御礼かたがたご挨拶申し上げます。

一般社団法人 玄洋社記念館
前理事長 吉村剛太郎

玄洋社憲則

- 第一条 皇室ヲ 敬戴ス可シ
- 第二条 本国ヲ 愛重ス可シ
- 第三条 人民ノ権利ヲ 固守ス可シ

今号の主な内容

- ▽記念館新理事長に妹尾俊見氏 1面
- ▽「廣田弘毅先生顕彰祭」開催報告 2面
- ▽「中野正剛先生顕彰祭」開催報告 3面
- ▽玄洋社に政治を学ぶ議員の会 4面
- ▽会費納入のお願い・ホームページ開設 4面

吉村剛太郎氏が玄洋社記念館相談役に就任

吉村前理事長は昭和十四年一月三日生まれ、父英彦之介氏は九州日報に勤務した玄洋社社員で、中野正剛先生の一字を取って剛太郎と名付けられた。平成十八年九月十六日の臨時理事会にて承認されて以来、玄洋社記念館理事長として、玄洋社の普及発展に長年に亘り多大なる貢献をされてこられた。令和五年六月十七日の理事会にて、一身上の理由により理事長を退任され、本館の相談役に就任された。

お知らせ
令和5年
11/4
中野正剛先生顕彰祭の
ご案内

日時: 令和五年十一月四日(土曜日)
午前十一時開始
場所: 福岡市中央区今川一丁目
鳥飼神社境内

参加費: お一人 千円

*雨天時は鳥飼神社内で執り行います。
*参加希望者は玄洋社記念館事務局へメールもしくはFAXでお申し込みください。
FAX 092・841・1850

廣田弘毅先生顕彰祭

令和4年
6月

開催いたしました



廣田弘毅先生顕彰祭の様子

また、銅像の前を通りが
かった人たちの中には足を
止めて式典を見守る人の
姿も見受けられた。

妹尾理事長代行が多忙
な中に出席くださった参
加者に謝辞を述べ、「廣田
先生をはじめとする先覚
たちの偉業をこれからは
若い世代にも広く知って
もらいたい」と述べ式典を
締めくくった。

価値観が多様化し、正
邪を計る基準が混乱して
いる現代にこそ、廣田先生
の教えは貴重であると思
える。

顕彰祭でも「先生の教
え、その生き方は風化させ
てはいけない」という声も
参加者より聞かれた。

年に一度開催される顕
彰祭は、そうした意見から
も意義深いものとなって
いる。



筑前琵琶
寺田蝶美師
「廣田弘毅」献奏

郷土・福岡が生んだ宰
相、廣田弘毅先生の顕彰
祭が六月三日(土)午前十一
時より、中央区城内五の福
岡市美術館南側に立つ廣
田弘毅先生銅像前で玄洋
社記念館主催にて開催さ
れた。

式典は福岡縣護国神社
により神式で執り行われ、
田村豊彦宮司の祝詞が奏
上され、妹尾俊見理事長
代行(当時)、山崎拓明道
館理事長、阿部真之助会
長(玄洋社)に政治を学ぶ

「浩々たる丹心、萬古に輝く」

廣田弘毅先生の銅像について

廣田弘毅先生の銅像は
市道から福岡市美術館に
入る角地にあります。

元福岡市長で玄洋社記
念館元理事長の進藤一馬
先生が奔走され、各界各
層から二千六百人以上の
協賛者を得て、昭和五十
七年五月十五日に落成し
ました。

銅像の大きさは、高さ三
メートル、台座が二メート
ルで、作者は日展会友の彫
刻家の緒方敏雄先生(佐
賀大学名誉教授)でありま
す。

廣田先生の足元の台座
部分はくり抜かれ、先生の
遺品のすずり、建立にあた
り募金に協力頂いた方々
の芳名録が収められてお
ります。

また、台座の背面には
「浩々丹心 輝萬古」(こ
うこうたんしん ばんこ
にかがやく)の七文字が彫
られています。

この文字は廣田先生が

菩提寺の崇福寺で揮毫さ
れた同寺所蔵のご遺墨よ
りとしたものです。

この銅像は総理大臣と
して、外務大臣として、軍
の暴走を抑え、日中戦争の
早期和平を図って奔走し
ながらも、極東軍事裁判に
よって死刑判決を受け、こ
れに対して一言の抗弁もせ
ずに、刑場の露と消えた廣
田先生の遺徳顕彰のため
に建立されました。

当時の落成式での進藤

一馬理事長の挨拶には、
「廣田先生の所信である
『浩々たる丹心、萬古に輝
く』の精神を行く末永く引
き継ぐ」と言われ、顕彰祭

は先生のご遺徳の顕彰だ
けでなく、青少年に対して
武道を奨励し、青少年団
体指導者を養成すること
によって、郷土の次世代を
担う質実剛健な青少年の
育成を目的とするとされ
ています。



廣田弘毅先生の銅像

中野正剛先生の顕彰祭を開催

福岡が生んだ憂国の政治家、中野正剛先生の遺徳を顕彰する「中野正剛先生顕彰祭」が令和四年十月二十二日(土)に開催された。



福岡が生んだ憂国の政治家、中野正剛先生の遺徳を顕彰する「中野正剛先生顕彰祭」が令和四年十月二十二日(土)に開催された。

て国を守ろうとした先生の偉業はこれからも顕彰し、後世に伝えていきたい。との挨拶に出席者は改めて先生の偉業に触れることができた。

式典は福岡市中央区今川一丁目鳥飼神社境内の中野正剛先生銅像前にて玄洋社記念館主催により行われ、玄洋社にゆかりのある方々、玄洋社に政治を学ぶ議員の会のメンバーや県外からも多くの方々に参列いただいた。



崇福寺の玄洋社墓地に高場乱先生の銅像が建立



幕末から明治にかけて現在の博多区博多駅前四丁目に通称「人參畑塾」を開き、日本の将来を担う若者たちの育成に心血を注いだ眼科医でもあった高場乱先生の銅像が高場乱保存会「人參畑塾の会」により崇福寺境内の玄洋社墓地内に建造されました。

高場乱先生は一八三二年に博多瓦町(博多区祇園町)で生まれ、医学の他に儒学、疫学などにも精通し、女性でありながら福岡藩庁からも帯刀を許され、男装を通し、武士の精神をもつて生涯をすごされました。

国家の為に役に立つ人材となる若者の育成の為に、眼科院を兼ねた「興志塾」を開校し、塾生には武部小四郎、越智彦四郎、頭山満、箱田六輔などをはじめ多くの若者が集いました。

高場乱保存会「人參畑塾の会」は顧問安部泰宏氏を中心に高場先生の供養祭、生誕祭、講師を招いての勉強会を開催し、先生の顕彰を行っています。

同会は令和四年五月に崇福寺内の玄洋社墓地大規模改修工事に着手

し、同年八月二十日には玄洋社墓地新装竣工式を挙行、本年四月には墓地内に高場乱先生銅像の完成披露会を開催しました。

銅像の作者は人形師の中村信喬先生です。

中村信喬先生は一九五七年福岡市で生まれ、人形師である父、衍涯氏の仕事を見て育ち、人形制作の為に、多くの師に従事し、技術を学び、その作品の数々は国内外に人気であり、評価も極めて高く、博多祇園山笠の人形も長年に亘り作り続けられています。

このような地域行事への貢献や技術の継承など幅広い取り組みが高く評価され、福岡県無形文化財工芸技術「人形制作」保持者にも認定されています。

今回の製作にも高場乱先生の信念、生き様などの歴史的背景を徹底して調査を重ね、高場先生が歩んだであろう道に自ら立ち、感じただであろう空気を感じ、高場先生と自らを重ね合わせ、作品に尊敬と祈りの念を込めて作られたそうです。



人參畑塾の会磯山誠二会長

玄洋社に政治を学ぶ 議員の会の会長に 阿部氏が就任



阿部 真之助

玄洋社と諸先達の足跡に触れて、政治の本質を学び取り、真の政治家としての自らの感覚を更に磨いてゆくことを目的に平成二十四年に福岡市議会の有志議員により「玄洋社に政治を学ぶ議員の会」が設立されました。

以来、石瀧豊美先生や有馬学福岡市博物館名誉館長などを講師に迎え、勉強会を重ね、明治、大正、昭和の席の激動期に、日本の独立を守り、アジアの解放運動を支えた玄洋社の先達たちの功績を混濁とした現代政治に活かすべく活動を続けています。

今回、市議会の改選期にあたり、引退をされた富永計久前会長の後任に玄洋社記念館理事でもある阿部真之助議員が会長

令和五年度 会費納入のお願い

賛助会員の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年に入り新型コロナウイルス感染症との闘いも一段落を迎え、アフターコロナという新たな世の中へと変わりつつありますが、賛助会員各位にはお変わりなくご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。

さて、大変恐縮ではございますが、玄洋社記念館は、四月一日より令和五年度の賛助会費の受け付けを開始いたしております。

つきましては、賛助会員各位には何卒、会費の納入をお願い致します。

賛助会費の額は「法人・団体」が一口三万円、「個人」が一口一万円になります。

今回、市議会の改選期にあたり、引退をされた富永計久前会長の後任に玄洋社記念館理事でもある阿部真之助議員が会長

【賛助会費の額】

▽個人会費 二口二万円
▽法人・団体会員 一口三万円

【振込先】

【郵便振込】

口座番号 017700
120738

【銀行振込】

西日本シティ銀行
赤坂門支店 普通預金
口座番号 0740047

宛名は「玄洋社記念館」です。

納入には「郵便振込」と「銀行振込」がご利用になります。

玄洋社記念館
ホームページ開設
<https://genyosha.jp>



玄洋社記念館のホームページを開設いたしました。館報のバックナンバー・所蔵品について順次更新していく予定です。



新メールアドレス info@genyosha.jp

gメールもご利用いただけます genyosha.kinenan1@gmail.com

造園・緑化 自然とコミュニケーション

株式会社 別府梢風園

代表取締役社長 別府 大輔

本社 〒813-0255 福岡市東区青葉一丁目六番五三
TEL 092-9169100 092-9169100
FAX 092-9169100 092-9169100
E-mail: info@shouten.co.jp

HARADAI HOSPITAL

社会医療法人 原土井病院

理事長 原 寛

〒813-8588 福岡市東区青葉六丁目四〇番八号
TEL 092(6991)3881
FAX 092(6991)1059

株式会社 アキラ水産

取締役会長 安部 泰宏

本社 福岡市中央区長浜3丁目11番31号
電話 092-71116601(代表)

福岡市中央卸売市場 鮮魚仲卸業

建設コンサルタンツ
建設事業の計画・調査・設計・施工管理

ジーアンドエヌ・エンジニアリング株式会社

会長 花田 和久

代表取締役社長 児玉 久

本社 福岡市博多区東比恵三丁目二四一九
〒812-0007 電話(092)4813100
東京支社 東京都杉並区高円寺南一丁目31-1
〒166-0003 電話(03)537815800
営業所 千葉・浦和・神奈川・山口・佐賀・北九州・大分・長崎